

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2023年3月23日(23.03.2023)



(10) 国際公開番号
WO 2023/042549 A1

(51) 国際特許分類:
G06Q 10/10 (2012.01)

イト 4 5 0, ウエスト 1 9 0 ストリ
ート 2 0 5 0 California (US).

(21) 国際出願番号: PCT/JP2022/028783

(22) 国際出願日: 2022年7月26日(26.07.2022)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:
特願 2021-149677 2021年9月14日(14.09.2021) JP

(71) 出願人: パナソニック インテレクチュアル
プロパティ コーポレーション オブ アメ
リカ(PANASONIC INTELLECTUAL PROPER-
TY CORPORATION OF AMERICA) [US/US];
90504 カリフォルニア州, トーランス, ス

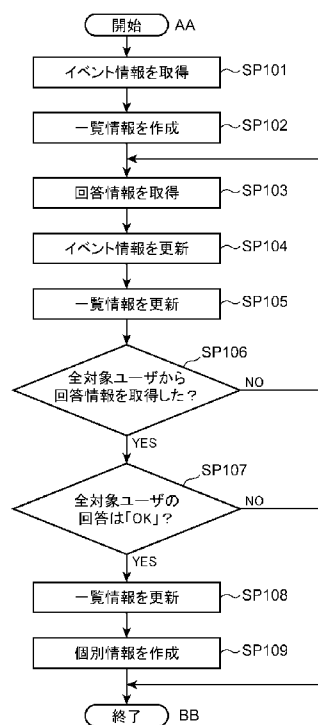
(72) 発明者: 野中 武(NONAKA, Takeshi); 〒5718501
大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 パナソ
ニックホールディングス株式会社内 Osaka
(JP). 竹井 良彦(TAKEI, Yoshihiko).

(74) 代理人: 小谷 昌崇, 外(KOTANI, Masataka et
al.); 〒5300005 大阪府大阪市北区中之島 2 丁目
2 番 2 号大阪中之島ビル 2 階 Osaka (JP).

(81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ,
BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH,
CL, CN, CO, CR, CU, CV, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO,
DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT,
HN, HR, HU, ID, IL, IN, IQ, IR, IS, IT, JM, JO, JP,

(54) Title: SCHEDULE INFORMATION PROVIDING METHOD, INFORMATION PROCESSING DEVICE, PRO-
GRAM, AND COMMUNICATION TERMINAL

(54) 発明の名称: スケジュール情報の提供方法、情報処理装置、プログラム、及び通信端末



SP101 Acquire event information
SP102 Create list information
SP103 Acquire response information
SP104 Update event information
SP105, SP108 Update list information
SP106 Is response information acquired from all target users?
SP107 Is response of all target users "OK"?
SP109 Create individual information
AA Start
BB End

(57) Abstract: This information processing device: acquires event information including target user conditions for executing an event; creates schedule information indicating an event scheduled to be executed, on the basis of the acquired event information; acquires, from the target user, response information regarding whether or not to execute the event included in the event information; updates the schedule information to indicate executable events on the basis of the acquired response information; and outputs the updated schedule information.

KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, WS, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類：

- 国際調査報告 (条約第21条(3))
- 補正された請求の範囲及び説明書 (条約第19条(1))

(57) 要約：情報処理装置は、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報を取得し、取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報を取得し、取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新し、更新した前記スケジュール情報を出力する。

明 細 書

発明の名称：

スケジュール情報の提供方法、情報処理装置、プログラム、及び通信端末
技術分野

[0001] 本開示は、スケジュール情報の提供方法、情報処理装置、プログラム、及び通信端末に関する。

背景技術

[0002] 特許文献1には、複数のメンバにより選択される実現可能スケジュールとして協調スケジュールを生成する技術が開示されている。

[0003] しかし、特許文献1では、スケジュールを実行可能か否かの実行予定者からの回答情報に基づいてスケジュール情報を更新することについては、何ら考慮されていない。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第6852610号公報

発明の概要

[0005] 本開示は、対象ユーザからの回答情報に基づいてスケジュール情報を更新することが可能な、スケジュール情報の提供方法、情報処理装置、プログラム、及び通信端末を得ることを目的とする。

課題を解決するための手段

[0006] 本開示の一態様に係るスケジュール情報の提供方法は、情報処理装置が、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報を取得し、取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報を取得し、取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新し、更新した前記スケジュール情報を出力する。

図面の簡単な説明

- [0007] [図1]スケジュール情報管理システムの全体構成を簡略化して示す図である。
- [図2]情報処理部が実行する処理の流れを概略的に示すフローチャートである。
- 。
- [図3]イベント情報の一例を簡略化して示す図である。
- [図4]一覧情報の一例を簡略化して示す図である。
- [図5]回答情報の入力画面の一例を簡略化して示す図である。
- [図6]更新された一覧情報の一例を簡略化して示す図である。
- [図7]個別情報の一例を簡略化して示す図である。
- [図8]回答情報の入力画面の一例を簡略化して示す図である。
- [図9]イベント情報の一例を簡略化して示す図である。

発明を実施するための形態

- [0008] (本開示の基礎となった知見)

複数のユーザが共同生活をする家庭等において、各ユーザの行動スケジュールをデジタルデータとして全ユーザ間で共有できれば便利である。特許文献1には、複数のメンバによって構成されるグループに属する各メンバの行動スケジュールを、協調スケジュールとして生成及び管理する技術が開示されている。

- [0009] しかし、あるユーザからの操作入力によって実行予定のイベントを示すスケジュール情報が作成されたとしても、他のユーザの都合によってそのイベントを実行できない状況は生じ得る。しかし、背景技術には、作成されたスケジュール情報を各ユーザの都合に応じて簡易に修正する仕組みがなかった。特許文献1においても、スケジュールを実行可能か否かの実行予定者からの回答情報に基づいてスケジュール情報を更新することについては、何ら考慮されていない。

- [0010] かかる課題を解決するために、本発明者は、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成した後、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を取得し、取得した回答情報に基づいてスケジュール情報を更

新することにより、ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正できるとの知見を得て、本開示を想到するに至った。

[0011] 次に、本開示の各態様について説明する。

[0012] 本開示の第1態様に係るスケジュール情報の提供方法は、情報処理装置が、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報を取得し、取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報を取得し、取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新し、更新した前記スケジュール情報を出力する。

[0013] 第1態様によれば、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を取得し、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すようスケジュール情報を更新することにより、対象ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0014] 本開示の第2態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第1態様において、前記情報処理装置は、さらに、前記対象ユーザが複数のユーザを含む場合、前記複数のユーザの全てからイベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を取得することにより、当該イベントは実行可能なイベントであると判定しても良い。

[0015] 第2態様によれば、対象ユーザが複数のユーザを含む場合であっても、複数のユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0016] 本開示の第3態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第2態様において、前記スケジュール情報は、前記複数のユーザに関する、実行可能な複数のイベントの一覧を示す一覧情報を含んでも良い。

[0017] 第3態様によれば、スケジュール情報が一覧情報を含むことにより、各ユーザのスケジュールを全ユーザ間で共有することが可能となる。

[0018] 本開示の第4態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第3態様におい

て、前記スケジュール情報は、前記複数のユーザの各々に関する、実行可能なイベントを示す個別情報をさらに含んでも良い。

[0019] 第4態様によれば、スケジュール情報が個別情報を含むことにより、各ユーザは自身のスケジュールを簡易に確認することが可能となる。

[0020] 本開示の第5態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第1～第4態様のいずれか一つにおいて、前記情報処理装置は、さらに、前記スケジュール情報において、前記実行予定のイベントにはスケジュールが未確定であることを示すマークを付し、前記実行可能なイベントにはスケジュールが確定したことを示すマークを付しても良い。

[0021] 第5態様によれば、スケジュール情報において、スケジュールが未確定のイベントとスケジュールが確定したイベントとを明確に区別することが可能となる。

[0022] 本開示の第6態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第1～第5態様のいずれか一つにおいて、前記情報処理装置は、前記回答情報を取得する工程では、前記対象ユーザに代えてイベントを実行する代行ユーザからの回答情報を取得可能であり、前記スケジュール情報を更新する工程では、前記イベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を前記代行ユーザから取得した場合には、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新しても良い。

[0023] 第6態様によれば、代行ユーザからの回答情報を取得可能とすることにより、イベントが実現される可能性を高めることが可能となる。

[0024] 本開示の第7態様に係るスケジュール情報の提供方法は、第6態様において、前記イベント情報は、前記代行ユーザの条件をさらに含んでも良い。

[0025] 第7態様によれば、代行ユーザの条件をイベント情報に含めることによって、代行ユーザの条件をイベント情報において設定することが可能となる。

[0026] 本開示の第8態様に係る情報処理装置は、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得部と、

前記取得部が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得部が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理部と、前記処理部が更新した前記スケジュール情報を出力する出力部と、を備える。

[0027] 第8態様によれば、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を取得し、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すようスケジュール情報を更新することにより、対象ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0028] 本開示の第9態様に係るプログラムは、情報処理装置を、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得手段と、前記取得手段が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得手段が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理手段と、前記処理手段が更新した前記スケジュール情報を出力する出力手段と、として機能させる。

[0029] 第9態様によれば、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を取得し、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すようスケジュール情報を更新することにより、対象ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0030] 本開示の第10態様に係るスケジュール情報の提供方法は、通信端末が、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を表示部に表示し、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を受け付け、当該回答情報を前記情報処理装置に送信し、前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理

装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部に表示する。

[0031] 第10態様によれば、情報処理装置が、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を受信し、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すようスケジュール情報を更新することにより、対象ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0032] 本開示の第11態様に係る通信端末は、通信部、表示部、及び入力部を備え、イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示し、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を前記入力部が受け付け、当該回答情報を前記通信部が前記情報処理装置に送信し、前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示する。

[0033] 第11態様によれば、情報処理装置が、イベントの実行の可否に関する対象ユーザからの回答情報を受信し、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すようスケジュール情報を更新することにより、対象ユーザの都合に応じてスケジュール情報を簡易に修正することが可能となる。

[0034] 本開示は、このような方法又は装置に含まれる特徴的な各構成をコンピュータに実行させるプログラム、或いはこのプログラムによって動作するシステムとして実現することもできる。また、このようなコンピュータプログラムを、CD-ROM等のコンピュータ読取可能な非一時的な記録媒体あるいはインターネット等の通信ネットワークを介して流通させることができるのは、言うまでもない。

[0035] (本開示の実施形態)

以下、本開示の実施形態について、図面を用いて詳細に説明する。異なる

図面において同一の符号を付した要素は、同一又は相応する要素を示すものとする。また、以下の実施の形態で示される構成要素、構成要素の配置位置、接続形態、及び動作の順序等は、一例であり、本開示を限定する趣旨ではない。本開示は、特許請求の範囲だけによって限定される。よって、以下の実施の形態における構成要素のうち、本開示の最上位概念を示す独立請求項に記載されていない構成要素については、本開示の課題を達成するのに必ずしも必要ではないが、より好ましい形態を構成するものとして説明される。

[0036] 図1は、本開示の実施形態に係るスケジュール情報管理システム1の全体構成を簡略化して示す図である。スケジュール情報管理システム1は、通信端末2及び管理サーバ3を備えている。通信端末2及び管理サーバ3は、通信ネットワーク4を介して相互に通信可能である。通信ネットワーク4は、IP等の任意の通信方式に対応した専用回線網又は公衆回線網である。

[0037] 通信端末2は、ユーザが所持するスマートフォン等である。通信端末2は、情報処理部11、記憶部12、入力部13、表示部14、及び通信部15を有している。情報処理部11は、CPU等である。記憶部12は、フラッシュメモリ等である。入力部13及び表示部14は、LCD又は有機ELディスプレイ等を用いたタッチパネル式のモニタとして構成されている。通信部15は、IP等の任意の通信方式に対応した通信モジュールを備えて構成されている。なお、記憶部12、入力部13、及び表示部14は、通信端末2とは別体の装置として構成されても良い。

[0038] 管理サーバ3は、クラウドサーバ又はエッジサーバ等である。管理サーバ3は、通信部21、情報処理部22、及び記憶部23を有している。通信部21は、IP等の任意の通信方式に対応した通信モジュールを備えて構成されている。情報処理部22は、CPU等である。記憶部23は、HDD、SSD、又はフラッシュメモリ等である。なお、記憶部23は、管理サーバ3とは別体の装置として構成されても良い。

[0039] 情報処理部22は、記憶部23からROM又はRAM等に読み出したプログラムをCPU等が実行することによって実現される機能として、取得部3

1、処理部32、判定部33、及び出力部34を有する。換言すれば、プログラムは、情報処理装置としての管理サーバ3に搭載される情報処理部22を、これらの複数の処理部として機能させるためのプログラムである。

[0040] 記憶部23には、イベント情報41、一覧情報42、個別情報43、及び回答情報44が記憶されている。

[0041] イベント情報41は、対象ユーザが実行するイベントを示す情報である。本実施形態に係るイベント情報は、イベントを識別するイベントIDと、イベントを実行するユーザを識別する対象ユーザIDとを含み、互いの対応関係を示す情報も含む。イベントとは、対象ユーザの生活又は行動等に関する、家事、行事、又は催し等を示す。イベントには、ゴミ出し、習い事、又は銀行への振り込み等の生活に関する行事が含まれる。また、イベントには、家族での旅行又は外食等の家族との行事が含まれる。また、イベントには、入学式、卒業式、又は体操着を準備する等の学校行事が含まれる。また、本開示に係るイベントには、上述の通り、ゴミ出し又は銀行への振り込み等の、対象ユーザが行うべきタスクとなる出来事も含まれる。

[0042] イベント情報41は、複数のレコードを含むデータベースであり、各レコードが1つのイベントに対応する。各レコードは、イベントIDを示すフィールド、及び、対象ユーザIDを示すフィールドを含む。各レコードは、さらに、イベントの実行予定日時を示すフィールド、及び、イベント名を示すフィールドを含んでも良い。

[0043] 一覧情報42は、所定期間内における対象ユーザに関するイベントを示す情報である。対象ユーザが複数のユーザを含む場合は、一覧情報42には、複数のユーザのイベントが集められて一覧として示される。所定期間は、1ヶ月又は1週間等の任意の期間である。

[0044] また、一覧情報42は、複数のレコードを含むデータベースであり、各レコードが単位期間に対応する。単位期間は例えば1日である。一覧情報42に含まれる各レコードは、イベントIDを示すフィールド、対象ユーザIDを示すフィールド、スケジュールの未確定又は確定のフラグ情報を示すフィ

ールド、イベントの実行予定日時を示すフィールド、及び、イベント名を示すフィールドを含む。

[0045] 個別情報 4 3 は、上記所定期間内における各ユーザのイベントを示す情報である。個別情報 4 3 は、複数のレコードを含むデータベースであり、各レコードが上記単位期間に対応する。個別情報 4 3 に含まれる各レコードは、イベント ID を示すフィールド、イベントの実行予定日時を示すフィールド、及び、イベント名を示すフィールドを含む。

[0046] 回答情報 4 4 は、イベントの実行の可否に関するユーザからの回答内容を示す情報である。回答情報 4 4 は、イベント ID と、回答を入力したユーザのユーザ ID と、イベントの実行の可否を示す回答内容とを含む。

[0047] 取得部 3 1 は、イベント情報 4 1 及び回答情報 4 4 を記憶部 2 3 から取得する。処理部 3 2 は、取得部 3 1 が取得したイベント情報 4 1 に基づいて、実行予定のイベントを示す一覧情報 4 2 を作成し、取得部 3 1 が取得した回答情報 4 4 に基づいて、実行可能なイベントを示すよう一覧情報 4 2 を更新する。判定部 3 3 は、各イベントに関して全対象ユーザから回答情報 4 4 を取得したか否かを判定する。出力部 3 4 は、処理部 3 2 が更新した一覧情報 4 2 を出力する。出力部 3 4 が出力した一覧情報 4 2 は、記憶部 3 2 に記憶される。

[0048] 図 2 は、情報処理部 2 2 が実行する処理の流れを概略的に示すフローチャートである。以下では、一例として、対象ユーザが、父、母、姉、及び弟の 4 人のユーザから成る家族グループを対象としたスケジュール管理について説明する。各ユーザは自身の通信端末 2 を所持しており、管理サーバ 3 は、各通信端末 2 に付与された固有識別情報によって、各通信端末 2 を識別可能である。

[0049] ユーザは、入力部 1 3 を用いた操作入力によって、イベント情報 4 1 を入力する。具体的には、複数のユーザのうちの任意のユーザ（例えば、イベントが発生したユーザ）が、上記所定期間内における全てのユーザのスケジュールに関して、イベント名、イベントの実行予定日時、及び、イベントを実

行する対象ユーザを入力する。情報処理部 11 は、入力されたイベント毎にイベント ID を付与する。情報処理部 11 は、入力されたイベント毎に、イベント ID、対象ユーザ ID、実行予定日時、及びイベント名を含むレコードを作成し、複数のイベントに対応する複数のレコードを含むイベント情報 41 を生成する。通信部 15 は、入力されたイベント情報 41 を、通信ネットワーク 4 を介して管理サーバ 3 に送信する。通信部 21 は、受信したイベント情報 41 を記憶部 23 に記憶する。ステップ SP101 において、取得部 31 は、記憶部 23 からイベント情報 41 を取得する。なお、管理サーバ 3 は、通信端末 2 からイベント情報 41 を受信することに加えて、カレンダーアプリ等を用いて既に登録されたカレンダー情報を管理する外部サーバから、イベント情報 41 を受信しても良い。

[0050] 図 3 は、イベント情報 41 の一例を簡略化して示す図である。前述の通り、イベント情報 41 は、イベント ID 及び対象ユーザ ID を含む。イベント ID は、各イベントに付与された固有識別情報であり、この例では I01 ~ I04 である。ユーザ ID は、各ユーザに付与された固有識別情報であり、この例では U01 (父)、U02 (母)、U03 (姉)、U04 (弟) である。対象ユーザ ID は、イベントを実行するユーザとして指定された対象ユーザの条件を示すユーザ ID である。

[0051] イベント ID が I01 のイベントに関しては、対象ユーザ ID として U01、U03 が設定されている。イベント ID が I02 のイベントに関しては、対象ユーザ ID として U02 が設定されている。イベント ID が I03 のイベントに関しては、対象ユーザ ID として U01 or U02 or U03 or U04 (家族内の任意の 1 名) が設定されている。イベント ID が I04 のイベントに関しては、対象ユーザ ID として U01 and U02 and U03 and U04 (家族全員) が設定されている。

[0052] なお、図 3 では省略したが、イベント情報 41 は、イベントを実行する予定の日時を示す情報、及び、イベントの内容を示す情報を含む。

[0053] 次にステップ SP102 において、処理部 32 は、ステップ SP101 で

取得したイベント情報 4 1 に含まれる上記所定期間内の複数のイベントを上記単位期間毎にまとめて配列することにより、実行予定のイベントを示す一覧情報 4 2（スケジュール情報）を作成する。処理部 3 2 は、作成した一覧情報 4 2 を記憶部 2 3 に記憶する。

[0054] 図 4 は、ステップ S P 1 0 2 で作成された一覧情報 4 2 の一例を簡略化して示す図である。この例では、ある月の 1 日から 3 1 日までの 1 ヶ月分のイベントがカレンダー形式で一覧表示されている。1 日を示すセルには、「姉の塾」というイベント名と、当該イベントに関する要回答ユーザが父及び姉であることを示すマークと、スケジュールが未確定であることを示すマークとが記されている。スケジュールが未確定であることを示すマークは、例えば「未」のマークである。あるいは、スケジュールが確定したことを示す例えば「確」のマークを表示しないことによって未確定を示すための、オープン表示であっても良い。

[0055] 処理部 3 2 は、実行予定日が 1 日であるイベントをイベント情報 4 1 から抽出し、当該イベントのイベント名（この例では「姉の塾」）と、当該イベントの対象ユーザ ID で示されるユーザ名（この例では「父」及び「姉」）とを、一覧情報 4 2 のうち 1 日を示すセルに表記する。イベント情報 4 1 における対象ユーザが、一覧情報 4 2 における要回答ユーザに相当する。また、処理部 3 2 は、スケジュールが未確定であることを示す「未」のマークを、一覧情報 4 2 のうち 1 日を示すセルに表記する。2 日を示すセルには、「ゴミ出し」というイベント名と、当該イベントに関する要回答ユーザが家族内の任意の 1 名であることを示す「任意 1 名」のマークと、スケジュールが未確定であることを示す「未」のマークとが記されている。1 4 日を示すセルには、「外出」というイベント名と、当該イベントに関する要回答ユーザが父、母、及び弟であることを示すマークと、スケジュールが未確定であることを示す「未」のマークとが記されている。

[0056] 通信部 2 1 が記憶部 2 3 から読み出した一覧情報 4 2 のデータを通信端末 2 に送信することにより、通信端末 2 の表示部 1 4 に一覧情報 4 2 を表示す

ることが可能である。

[0057] 一覧情報 4 2 において要回答ユーザとして指定されたユーザは、入力部 1 3 を用いた操作入力によって、イベントの実行の可否を示す回答情報 4 4 を入力する。通信部 1 5 は、入力された回答情報 4 4 を、通信ネットワーク 4 を介して管理サーバ 3 に送信する。回答情報 4 4 は、イベント ID と、回答を入力したユーザのユーザ ID と、イベントの実行の可否を示す回答内容とを含む。通信部 2 1 は、受信した回答情報 4 4 を記憶部 2 3 に記憶する。ステップ S P 1 0 3 において、取得部 3 1 は、記憶部 2 3 から回答情報 4 4 を取得する。

[0058] 図 5 は、表示部 1 4 に表示される回答情報 4 4 の入力画面 5 0 の一例を簡略化して示す図である。例えば、「姉の塾」というイベントの要回答ユーザとして指定されたユーザ（父及び姉）が、一覧情報 4 2 内の 1 日を示すセルをタップすることにより、管理サーバ 3 の処理部 3 2 は、図 5 に示した入力画面 5 0 を通信端末 2 の表示部 1 4 にポップアップ表示させる。入力画面 5 0 は、イベントの日時、内容、及び対象者（対象ユーザ）を示す項目 6 1 と、イベントを実行可能である場合にタップされる OK ボタン 6 2 と、イベントを実行不能である場合にタップされる NG ボタン 6 3 とを含む。対象ユーザが OK ボタン 6 2 及び NG ボタン 6 3 のいずれかをタップすることにより、入力部 1 3 に回答情報 4 4 が入力される。

[0059] 次にステップ S P 1 0 4 において、処理部 3 2 は、ステップ S P 1 0 3 で取得した回答情報 4 4 に基づいてイベント情報 4 1 を更新し、更新したイベント情報 4 1 を記憶部 2 3 に記憶する。具体的に、処理部 3 2 は、イベントを実行可能である旨の回答情報 4 4 を取得したユーザを、当該イベントに関する要回答ユーザから削除するよう、イベント情報 4 1 を更新する。例えば、イベント情報 4 1 において要回答ユーザが父及び姉であるイベントに関して、実行可能である旨の回答情報 4 4 を父から取得した場合には、処理部 3 2 は、要回答ユーザから父を削除するようイベント情報 4 1 を更新する。

[0060] 次にステップ S P 1 0 5 において、処理部 3 2 は、ステップ S P 1 0 4 で

更新したイベント情報 4 1 に基づいて一覧情報 4 2 を更新し、更新した一覧情報 4 2 を記憶部 2 3 に記憶する。具体的に、処理部 3 2 は、更新したイベント情報 4 1 に含まれる上記所定期間内の複数のイベントを上記単位期間毎にまとめて配列することにより、更新した一覧情報 4 2 を作成する。

[0061] 次にステップ S P 1 0 6 において、判定部 3 3 は、各イベントに関して全対象ユーザから回答情報 4 4 を取得したか否かを判定する。

[0062] 各イベントに関して未回答のユーザが存在する場合（ステップ S P 1 0 6 : N O）は、当該イベントに関してステップ S P 1 0 3 以下の処理が繰り返し実行される。

[0063] 各イベントに関して全対象ユーザから回答情報 4 4 を取得した場合（ステップ S P 1 0 6 : Y E S）は、次にステップ S P 1 0 7 において、判定部 3 3 は、当該イベントに関する全対象ユーザの回答が「O K」であるか否かを判定する。なお、図 3 に示したイベント情報 4 1 においてイベント I D が I 0 3 で示されるイベントのように、「又は」（o r）で接続された複数のユーザ I D によって対象ユーザ I D が設定されているイベントに関しては、判定部 3 3 は以下の処理を実行する。判定部 3 3 は、ステップ S P 1 0 6 において、全対象ユーザではなくいずれかの対象ユーザから回答情報 4 4 を取得したか否かを判定し、ステップ S P 1 0 7 において、全対象ユーザではなく当該いずれかの対象ユーザの回答が「O K」であるか否かを判定する。

[0064] 各イベントに関して回答が「N G」であるユーザが含まれている場合（ステップ S P 1 0 7 : N O）は、当該イベントに関する処理を終了する。

[0065] 各イベントに関する全対象ユーザの回答が「O K」である場合（ステップ S P 1 0 7 : Y E S）は、次にステップ S P 1 0 8 において、処理部 3 2 は、当該イベントのスケジュールを確定させ、当該イベントは実行可能である旨を示すように一覧情報 4 2 を更新する。処理部 3 2 は、更新した一覧情報 4 2 を記憶部 2 3 に記憶する。

[0066] 図 6 は、ステップ S P 1 0 8 で更新された一覧情報 4 2 の一例を簡略化して示す図である。この例では、1 日を示すセルには、「姉の塾」というイベ

ント名と、当該イベントに関する全対象ユーザ（父及び姉）の回答が「OK」であったことによりスケジュールが確定したことを示すマーク、例えば「確」のマークとが記されている。処理部32は、イベント名が「姉の塾」であるイベントに関して、全対象ユーザ（父及び姉）から回答情報44を取得し、かつ、全対象ユーザの回答が「OK」であったことにより、当該イベントのスケジュールを確定させる。処理部32は、当該イベントのスケジュールが確定したことを示す「確」のマークを、一覧情報42のうち1日を示すセルに表記する。また、2日を示すセルには、「ゴミ出し」というイベント名と、当該イベントの対象ユーザ（任意1名）の回答が「OK」であったことによりスケジュールが確定したことを示す「確」のマークとが記されている。また、14日を示すセルには、「外出」というイベント名と、当該イベントに関する要回答ユーザとして弟を示すマーク（父及び母からは「OK」の回答があったため要回答ユーザから削除された）と、スケジュールが未確定であることを示す「未」のマークとが記されている。

[0067] 通信部21が記憶部23から読み出した更新後の一覧情報42のデータを通信端末2に送信することにより、通信端末2の表示部14に更新後の一覧情報42を表示することが可能である。

[0068] 次にステップSP109において、処理部32は、更新後の一覧情報42に含まれる上記所定期間内の複数のイベントをユーザ毎にまとめて配列することにより、各ユーザに関して実行可能なイベントを示す個別情報43を作成する。処理部32は、作成した個別情報43を記憶部23に記憶する。

[0069] 図7は、個別情報43の一例を簡略化して示す図である。この例では、姉に関する個別情報43を示している。1日を示すセルには、「塾」という確定したイベント名が記されている。

[0070] 通信部21が記憶部23から読み出した個別情報43のデータを通信端末2に送信することにより、通信端末2の表示部14に個別情報43を表示することが可能である。

[0071] 本実施形態によれば、情報処理部22は、イベントの実行の可否に関する

対象ユーザからの回答情報 4 4 を取得し、当該回答情報 4 4 に基づいて、実行可能なイベントを示すよう一覧情報 4 2（スケジュール情報）を更新することにより、対象ユーザの都合に応じて一覧情報 4 2 を簡易に修正することが可能となる。

[0072] また、本実施形態によれば、対象ユーザが複数のユーザを含む場合であっても、複数のユーザの都合に応じて一覧情報 4 2 を簡易に修正することが可能となる。

[0073] また、本実施形態によれば、スケジュール情報が一覧情報 4 2 を含むことにより、各ユーザのスケジュールを全ユーザ間で共有することが可能となる。さらに、一覧情報 4 3 には各イベントの未確定又は確定が区別して表示されるため、各ユーザは各イベントの確定状況又は実行状況等を把握でき、タスク管理を行うことが可能となる。

[0074] また、本実施形態によれば、スケジュール情報が個別情報 4 3 を含むことにより、各ユーザは自身のスケジュールを簡易に確認することが可能となる。

[0075] （変形例）

上記実施形態では、あるイベントに関して回答が「NG」であるユーザが含まれている場合（ステップ S P 1 0 7 : NO）には当該イベントに関する処理を終了したが、回答が「NG」である対象ユーザを代行する代行ユーザからの回答情報 4 4 を取得可能としても良い。

[0076] 以下の例では、代行ユーザは、自らの意志によって、回答が「NG」である対象ユーザを代行する。図 8 は、代行ユーザが所持する通信端末 2 の表示部 1 4 に表示される、回答情報 4 4 の入力画面 5 1 の一例を簡略化して示す図である。例えば、「姉の塾」というイベントの要回答ユーザとして指定されたユーザ（父）を代行可能な代行ユーザ（母）が、図 4 に示した一覧情報 4 2 内の 1 日を示すセルをタップすることにより、管理サーバ 3 の処理部 3 2 は、図 8 に示した入力画面 5 1 を通信端末 2 の表示部 1 4 にポップアップ表示させる。入力画面 5 1 は、イベントの日時、内容、及び対象者（対象ユ

ーザ)を示す項目61と、イベントを代行可能である場合にタップされる代行ボタン71とを含む。代行ボタン71には、回答が「NG」である対象ユーザを代行する旨のテキストメッセージ(この例では「父を代行」)が表記されている。代行ユーザが代行ボタン71をタップすることにより、「代行OK」の旨の回答情報44が入力部13に入力される。この場合、回答情報44は、イベントIDと、回答を入力した代行ユーザのユーザIDと、代行「OK」を示す回答内容とを含む。

[0077] 「代行OK」の旨の回答情報44を取得部31が取得した場合には、処理部32は、当該回答情報44に基づいてイベント情報41を更新し、更新したイベント情報41を記憶部23に記憶する。具体的に、処理部32は、代行ユーザ(この例では母)によって代行されたユーザである被代行ユーザ(この例では父)を、当該イベントに関する要回答ユーザから削除する更新を行う。処理部32は、当該イベントに関して全対象ユーザ及び代行ユーザから「OK」の回答情報44を取得した場合には、当該イベントのスケジュールを確定させ、図6と同様に当該イベントは実行可能である旨を示すように一覧情報42を更新する。また、処理部32は、更新した一覧情報42を記憶部23に記憶する。

[0078] なお、代行ユーザの条件をイベント情報41に含めても良い。例えば、イベント情報41を入力するユーザが特定のユーザを代行ユーザとして設定し、被代行ユーザ及び代行ユーザの各ユーザIDを、代行ユーザの条件として設定しても良い。図9は、イベント情報41の一例を簡略化して示す図である。イベント情報41は、イベントID、対象ユーザID、及び代行ユーザIDを含む。代行ユーザIDは、被代行ユーザのユーザID(この例ではU01)と、代行ユーザのユーザID(この例ではU02)とを含む。図9において、イベントのイベントIDはI01であり、当該イベントの対象ユーザの対象ユーザIDはU01及びU03である。また、代行ユーザIDの欄における「U01→U02」の表記は、被代行ユーザのユーザIDがU01であり、代行ユーザのユーザIDがU02であることを示している。

[0079] イベント情報 4 1 において代行ユーザとして設定されていない他のユーザ（例えばユーザ ID が U 0 4 である第）に対しては、処理部 3 2 は、当該他のユーザが所持する通信端末 2 の表示部 1 4 に代行の入力画面 5 1 を表示させないこと等により、イベントの代行が許可されない。

[0080] 一方、イベント情報 4 1 において代行ユーザとして設定されているユーザに対しては、処理部 3 2 は、被代行ユーザの通信端末 2 から「NG」の回答情報 4 4 を受信したことを条件として代行を許可しても良いし、被代行ユーザの通信端末 2 から回答情報 4 4 を受信したか否かに拘わらず代行を許可しても良い。前者の場合には、処理部 3 2 は、管理サーバ 3 から被代行ユーザの通信端末 2 に対して、代行ユーザに代行を依頼したことを示すメッセージ情報を送信しても良い。後者の場合には、処理部 3 2 は、管理サーバ 3 から被代行ユーザの通信端末 2 に対して、代行を容認するか否かの確認メッセージを送信しても良い。

[0081] 本変形例によれば、代行ユーザからの回答情報 4 4 を取得可能とすることにより、イベントが実現される可能性を高めることが可能となる。

[0082] また、本変形例によれば、代行ユーザの条件をイベント情報 4 1 に含めることによって、代行ユーザの条件を簡易に設定及び管理することが可能となる。

産業上の利用可能性

[0083] 本開示は、通信端末及びサーバ装置を備えるスケジュール管理システムへの適用が特に有用である。

符号の説明

- [0084] 2 通信端末
 3 管理サーバ
 1 1, 2 2 情報処理部
 1 2, 2 3 記憶部
 1 3 入力部
 1 4 表示部

1 5, 2 1 通信部

3 1 取得部

3 2 処理部

3 3 判定部

3 4 出力部

4 1 イベント情報

4 2 一覧情報

4 3 個別情報

4 4 回答情報

請求の範囲

- [請求項1] 情報処理装置が、
 イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報を取得し、
 、
 取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、
 前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報を取得し、
 取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新し、
 更新した前記スケジュール情報を出力する、スケジュール情報の提供方法。
- [請求項2] さらに、前記対象ユーザが複数のユーザを含む場合、前記複数のユーザの全てからイベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を取得することにより、当該イベントは実行可能なイベントであると判定する、請求項1に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項3] 前記スケジュール情報は、前記複数のユーザに関する、実行可能な複数のイベントの一覧を示す一覧情報を含む、請求項2に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項4] 前記スケジュール情報は、前記複数のユーザの各々に関する、実行可能なイベントを示す個別情報をさらに含む、請求項3に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項5] さらに、前記スケジュール情報において、前記実行予定のイベントにはスケジュールが未確定であることを示すマークを付し、前記実行可能なイベントにはスケジュールが確定したことを示すマークを付す、請求項1に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項6] 前記回答情報を取得する工程では、前記対象ユーザに代えてイベントを実行する代行ユーザからの回答情報を取得可能であり、

前記スケジュール情報を更新する工程では、前記イベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を前記代行ユーザから取得した場合には、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する、請求項1～5のいずれか一つに記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項7] 前記イベント情報は、前記代行ユーザの条件をさらに含む、請求項6に記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項8] イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得部と、

前記取得部が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得部が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理部と、

前記処理部が更新した前記スケジュール情報を出力する出力部と、を備える、情報処理装置。

[請求項9] 情報処理装置を、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得手段と、

前記取得手段が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得手段が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理手段と、

前記処理手段が更新した前記スケジュール情報を出力する出力手段と、

として機能させるためのプログラム。

[請求項10] 通信端末が、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を表示部に表示し、

前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を受け付け、当該回答情報を前記情報処理装置に送信し、

前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部に表示する、スケジュール情報の提供方法。

[請求項11]

通信部、表示部、及び入力部を備え、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示し、

前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を前記入力部が受け付け、当該回答情報を前記通信部が前記情報処理装置に送信し、

前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示する、通信端末。

補正された請求の範囲
[2023年1月12日(12.01.2023)国際事務局受理]

- [請求項1] (補正後)
- 情報処理装置が、
- イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報を取得し、
- 取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、
- 前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報を取得し、
- 取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新し、
- 更新した前記スケジュール情報を出力し、
- 前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、
- 前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む、スケジュール情報の提供方法。
- [請求項2] さらに、前記対象ユーザが複数のユーザを含む場合、前記複数のユーザの全てからイベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を取得することにより、当該イベントは実行可能なイベントであると判定する、請求項1に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項3] 前記スケジュール情報は、前記複数のユーザに関する、実行可能な複数のイベントの一覧を示す一覧情報を含む、請求項2に記載のスケジュール情報の提供方法。
- [請求項4] 前記スケジュール情報は、前記複数のユーザの各々に関する、実行可能なイベントを示す個別情報をさらに含む、請求項3に記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項5] さらに、前記スケジュール情報において、前記実行予定のイベントにはスケジュールが未確定であることを示すマークを付し、前記実行可能なイベントにはスケジュールが確定したことを示すマークを付す、請求項1に記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項6] 前記回答情報を取得する工程では、前記対象ユーザに代えてイベントを実行する代行ユーザからの回答情報を取得可能であり、

前記スケジュール情報を更新する工程では、前記イベントの実行が可能であることを示す前記回答情報を前記代行ユーザから取得した場合には、当該回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する、請求項1～5のいずれか一つに記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項7] 前記イベント情報は、前記代行ユーザの条件をさらに含む、請求項6に記載のスケジュール情報の提供方法。

[請求項8] (補正後)

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得部と、

前記取得部が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得部が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理部と、

前記処理部が更新した前記スケジュール情報を出力する出力部と、を備え、

前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、

前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む、情報処理

装置。

[請求項9] (補正後)

情報処理装置を、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報と、前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報とを取得する取得手段と、

前記取得手段が取得した前記イベント情報に基づいて、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を作成し、前記取得手段が取得した前記回答情報に基づいて、実行可能なイベントを示すよう前記スケジュール情報を更新する処理手段と、

前記処理手段が更新した前記スケジュール情報を出力する出力手段と、

として機能させ、

前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、

前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む、プログラム。

[請求項10] (補正後)

通信端末が、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を表示部に表示し、

前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を受け付け、当該回答情報を前記情報処理装置に送信し、

前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部に表示し、

前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、

前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む、スケジュール情報の提供方法。

[請求項11]

(補正後)

通信部、表示部、及び入力部を備え、

イベントを実行する対象ユーザの条件を含むイベント情報に基づいて情報処理装置が作成した、実行予定のイベントを示すスケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示し、

前記イベント情報に含まれる前記イベントの実行の可否に関する前記対象ユーザからの回答情報の入力を前記入力部が受け付け、当該回答情報を前記通信部が前記情報処理装置に送信し、

前記回答情報に基づいて実行可能なイベントを示すよう前記情報処理装置が更新した前記スケジュール情報を前記情報処理装置から前記通信部が受信し、受信した当該スケジュール情報を前記表示部が表示し、

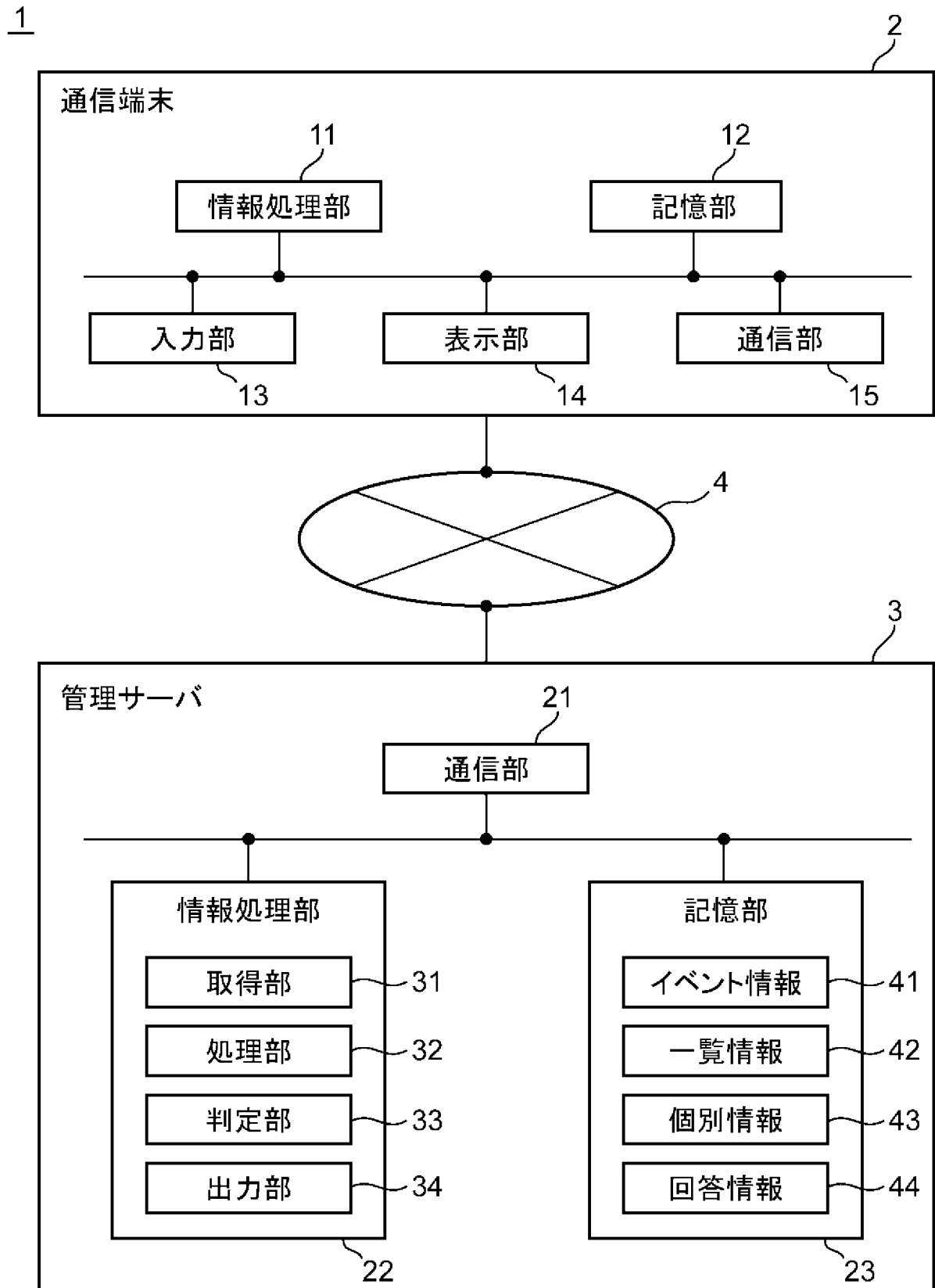
前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、

前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む、通信端末。

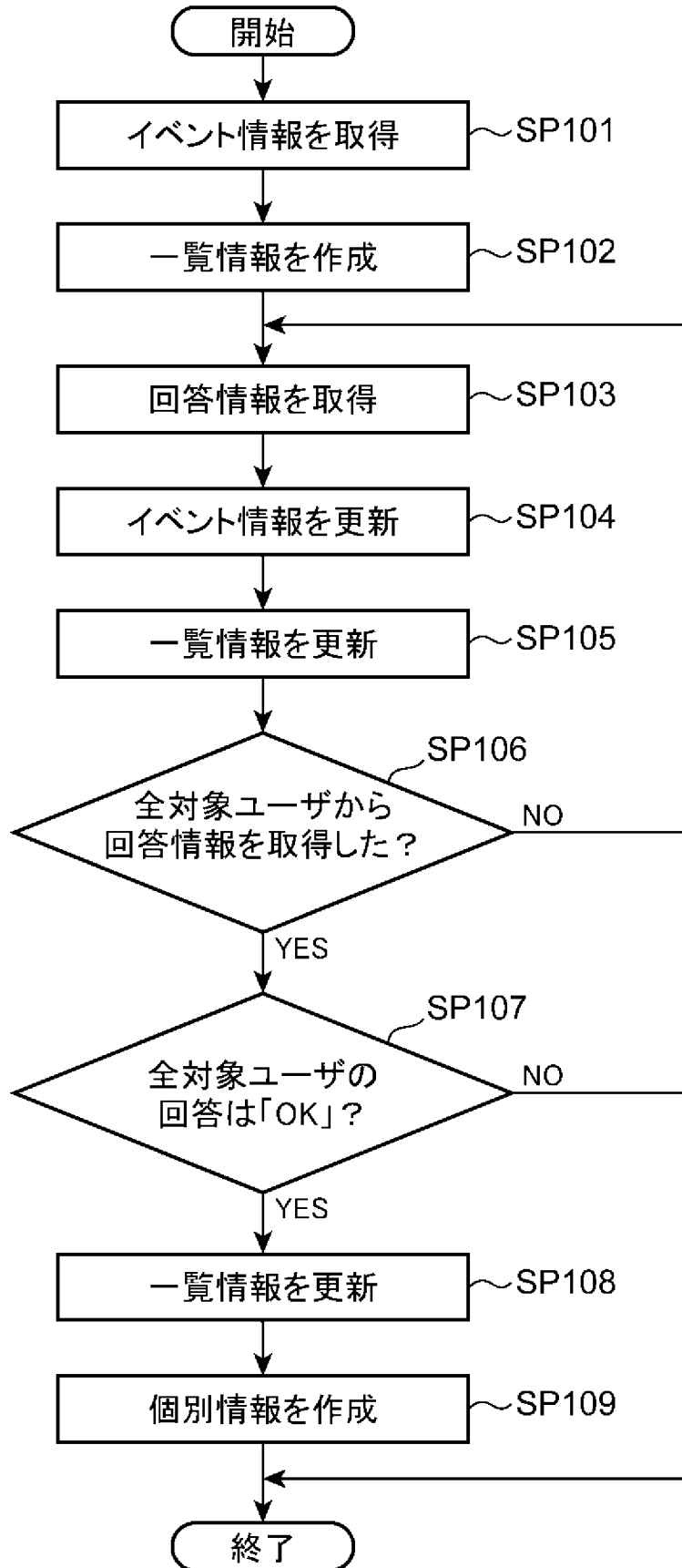
条約第19条（1）に基づく説明書

請求項1,8-11を補正した。「前記イベント情報は、前記対象ユーザが実行するイベントを示す情報であり、さらに、複数のレコードを含むデータベースであり、前記複数のレコードの各々は、前記実行予定のイベントを識別するイベントIDを示すフィールド、及び、イベントを実行する前記対象ユーザを識別する対象ユーザIDを示すフィールドを含む」の記載は、出願時の明細書の第0041段落及び第0042段落に記載された事項に基づくものである。

[図1]



[図2]



[図3]

41

イベント ID	対象ユーザ ID
I01	U01 , U03
I02	U02
I03	U01 or U02 or U03 or U04
I04	U01 and U02 and U03 and U04

•
•
•
•
•

[図4]

1	2	3	4	5	6	7
[未] 姉の塾 〈父〉〈姉〉	[未] ゴミ出し 〈任意1名〉					
8	9	10	11	12	13	14 [未] 外出 〈父〉〈母〉〈弟〉
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

[図5]

50

The diagram shows a user interface for scheduling a trip. It consists of a table with the following data:

日時	8月1日 19:00 - 21:00
内容	姉の塾
対象者	姉 18:30 出発 父 20:45 迎え

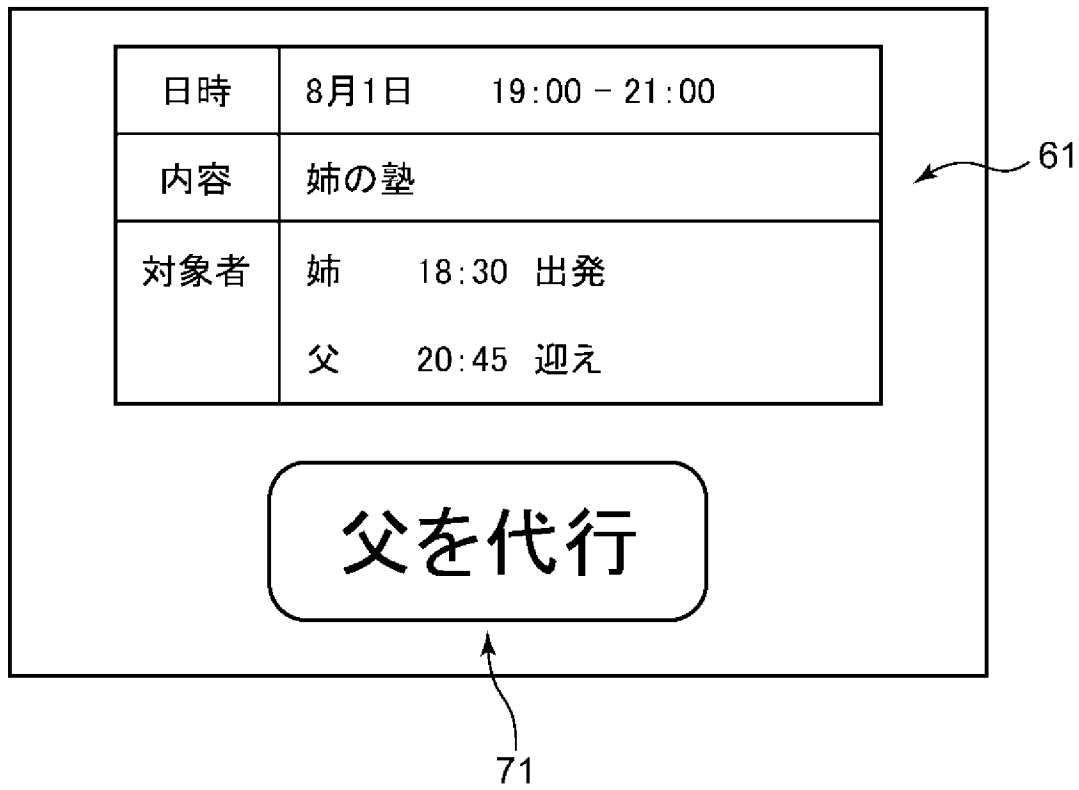
Below the table are two buttons: "OK" (labeled 62) and "NG" (labeled 63). The entire interface is enclosed in a frame labeled 61.

[図6]

1 姉の塾	2 [確] ゴミ出し	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14 [未] 外出 ＜弟＞
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1 塾	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

[図8]

51

[図9]

41

イベント ID	対象ユーザ ID	代行ユーザ ID
I01	U01 , U03	U01 → U02

⋮

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2022/028783

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER**G06Q 10/10**(2012.01)i

FI: G06Q10/10 344

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/00 - 99/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Published examined utility model applications of Japan 1922-1996

Published unexamined utility model applications of Japan 1971-2022

Registered utility model specifications of Japan 1996-2022

Published registered utility model applications of Japan 1994-2022

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2015-176398 A (RICOH CO., LTD.) 05 October 2015 (2015-10-05) paragraphs [0026], [0030], [0044]-[0045], [0055], [0057], [0060], [0064], fig. 7, 10	1, 5, 8-11
X	JP 2013-168003 A (FOCALWORKS CORP.) 29 August 2013 (2013-08-29) paragraphs [0014]-[0015], [0063]-[0064], fig. 1, 7, 8	1-4, 8-11
X	JP 2002-169939 A (CANON SALES CO., INC.) 14 June 2002 (2002-06-14) paragraphs [0018], [0024]-[0027], [0035], [0037], [0063]-[0066], [0075]-[0080], fig. 2, 3	1, 6-11
A	JP 2021-096860 A (LINE PLUS CORP.) 24 June 2021 (2021-06-24) entire text, all drawings	1-11
A	JP 2010-277312 A (INTERNATL. BUSINESS MACH. CORP.) 09 December 2010 (2010-12-09) entire text, all drawings	1-11



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

“A” document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

“E” earlier application or patent but published on or after the international filing date

“L” document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

“O” document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

“P” document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

“T” later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

“X” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

“Y” document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

“&” document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

14 October 2022

Date of mailing of the international search report

01 November 2022

Name and mailing address of the ISA/JP

Japan Patent Office (ISA/JP)
3-4-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8915
Japan

Authorized officer

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.

PCT/JP2022/028783

Patent document cited in search report			Publication date (day/month/year)	Patent family member(s)			Publication date (day/month/year)
JP	2015-176398	A	05 October 2015	(Family: none)			
JP	2013-168003	A	29 August 2013	(Family: none)			
JP	2002-169939	A	14 June 2002	(Family: none)			
JP	2021-096860	A	24 June 2021	US	2021/0194835	A1	
				KR	10-2254253	B1	
JP	2010-277312	A	09 December 2010	US	2010/0306327	A1	

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（IPC）） G06Q 10/10(2012.01)i FI: G06Q10/10 344														
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料（国際特許分類（IPC）） G06Q10/00 - 99/00 最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの <table border="0"> <tr> <td>日本国実用新案公報</td> <td>1922 - 1996年</td> </tr> <tr> <td>日本国公開実用新案公報</td> <td>1971 - 2022年</td> </tr> <tr> <td>日本国実用新案登録公報</td> <td>1996 - 2022年</td> </tr> <tr> <td>日本国登録実用新案公報</td> <td>1994 - 2022年</td> </tr> </table> 国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）			日本国実用新案公報	1922 - 1996年	日本国公開実用新案公報	1971 - 2022年	日本国実用新案登録公報	1996 - 2022年	日本国登録実用新案公報	1994 - 2022年				
日本国実用新案公報	1922 - 1996年													
日本国公開実用新案公報	1971 - 2022年													
日本国実用新案登録公報	1996 - 2022年													
日本国登録実用新案公報	1994 - 2022年													
C. 関連すると認められる文献														
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号												
X	JP 2015-176398 A（株式会社リコー）05.10.2015（2015 - 10 - 05） [0026], [0030], [0044]-[0045], [0055], [0057], [0060], [0064], 図7, 10	1, 5, 8-11												
X	JP 2013-168003 A（株式会社フォーカルワークス）29.08.2013（2013 - 08 - 29） [0014]-[0015], [0063]-[0064], 図1, 7, 8	1-4, 8-11												
X	JP 2002-169939 A（キャノン販売株式会社）14.06.2002（2002 - 06 - 14） [0018], [0024]-[0027], [0035], [0037], [0063]-[0066], [0075]-[0080], 図2, 3	1, 6-11												
A	JP 2021-096860 A（ライン プラス コーポレーション）24.06.2021（2021 - 06 - 24） 全文, 全図	1-11												
A	JP 2010-277312 A（インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーショ ン）09.12.2010（2010 - 12 - 09） 全文, 全図	1-11												
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。														
<table border="0"> <tr> <td>* 引用文献のカテゴリー</td> <td>“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの</td> </tr> <tr> <td>“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの</td> <td>“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの</td> <td>“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの</td> </tr> <tr> <td>“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）</td> <td>“&” 同一パテントファミリー文献</td> </tr> <tr> <td>“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献</td> <td></td> </tr> <tr> <td>“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献</td> <td></td> </tr> </table>			* 引用文献のカテゴリー	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの	“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの	“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの	“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの	“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	“&” 同一パテントファミリー文献	“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献		“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献	
* 引用文献のカテゴリー	“T” 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と抵触するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの													
“A” 特に関連のある文献ではなく、一般的な技術水準を示すもの	“X” 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの													
“E” 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの	“Y” 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの													
“L” 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）	“&” 同一パテントファミリー文献													
“O” 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献														
“P” 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願の日の後に公表された文献														
国際調査を完了した日 14.10.2022	国際調査報告の発送日 01.11.2022													
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP) 〒100-8915 日本国 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	権限のある職員（特許庁審査官） 加舎 理紅子 5L 3054 電話番号 03-3581-1101 内線 3502													

国際調査報告
パテントファミリーに関する情報

国際出願番号

PCT/JP2022/028783

引用文献			公表日	パテントファミリー文献			公表日
JP	2015-176398	A	05.10.2015	(ファミリーなし)			
JP	2013-168003	A	29.08.2013	(ファミリーなし)			
JP	2002-169939	A	14.06.2002	(ファミリーなし)			
JP	2021-096860	A	24.06.2021	US	2021/0194835	A1	
				KR	10-2254253	B1	
JP	2010-277312	A	09.12.2010	US	2010/0306327	A1	